



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月11日

上場会社名 株式会社Misumi 上場取引所 福
 コード番号 7441 URL http://kk-misumi.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡 恒憲
 問合せ先責任者 (役職名) サポート本部長兼経理部長 (氏名) 今田 和孝 (TEL) 099-260-2213
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 2019年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	27,841	△2.9	444	56.5	625	34.6	398	41.3
2019年3月期第2四半期	28,683	10.1	284	△31.9	464	△20.2	281	△34.9

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 455百万円(△15.0%) 2019年3月期第2四半期 535百万円(△29.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	66.08	—
2019年3月期第2四半期	46.70	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	35,663	17,037	47.0
2019年3月期	35,673	16,697	46.1

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 16,774百万円 2019年3月期 16,440百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	17.00	—	18.00	35.00
2020年3月期	—	20.00			
2020年3月期(予想)			—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,847	1.7	1,091	△5.9	1,399	△9.6	750	△7.7	124.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、 除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	6,100,503株	2019年3月期	6,100,503株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	70,669株	2019年3月期	70,669株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	6,029,834株	2019年3月期2Q	6,038,006株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループの営業基盤である南九州の経済は、雇用・所得環境の改善が続いているものの、個人消費は総じて力強さに欠ける動きが継続しており、人口減少による消費マーケットの縮小や人手不足を背景とした人件費や物流費が上昇しております。

このような状況の中で当社グループは、主力であるエネルギー関連商品の販売シェアの拡大に向け、法人顧客の新規開拓や既存顧客に対する増販活動に注力するとともに、その他セグメントにおいては、既存店舗の活性化等を目的とした店舗リニューアルを進めました。

以上の結果、原油価格が低調に推移していることにより、エネルギー関連商品の販売価格が低下した影響等から、当第2四半期連結累計期間の売上高は278億41百万円（前年同四半期比2.9%減）となりましたが、外食部門のキャンペーンが好調なことに加え、前期に発生したボックスミスミ日向店の出店費用の影響が今回は無くなったことから、経常利益は6億25百万円（前年同四半期比34.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億98百万円（前年同四半期比41.3%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

1 エネルギー

「エネルギー」セグメントの石油部門では、主に小口需要家の開拓に努めました。また、4月から広域法人営業課を新設し、法人向けのビジネスカード等の新規取引先の開拓を図るなど、販路の拡大と数量の増加に取り組みました。

ガス部門では、訪問活動による新規顧客の開拓やガス関連商品の提案、住設機器の展示会等を実施するなど、お客様との関係強化に努めるとともに、昨年から販売エリアごとに順次設置を進めているLPガスの集中監視システムの導入による業務の効率化とIoTを活用した様々なサービスの実現に向けて取り組んでおります。

以上の結果、原油価格が低調に推移していることにより、エネルギー関連商品の販売価格が低下した影響等から、売上高は215億29百万円（前年同四半期比4.6%減）となりましたが、ガソリンなど石油製品の市況が好転したことにより、セグメント利益（営業利益）は3億50百万円（前年同四半期比8.6%増）となりました。

2 ライフスタイル

「ライフスタイル」セグメントのカルチャー部門では、ボックスミスミ人吉店において売場の改装を行い、書籍と文具の販売促進を図りました。また、9月には熊本県で初となるApple専門店「misumi STORE熊本」（熊本市中央区）を大型商業施設内に出店いたしました。

自動車部門では、出張展示会の開催により集客を図り、新車販売の増販に努めるとともに、プジョー車の告知を積極的に進めることに注力し、収益確保に努めました。

ホームライフ部門では、鹿児島市吉野地区に建築したモデルハウスの合同展示会を開催し、新規受注の獲得を図りました。

以上の結果、売上高は34億57百万円（前年同四半期比4.0%増）、セグメント利益（営業利益）は1億13百万円（前年同四半期比382.0%増）となりました。

3 フード&ビバレッジ

「フード&ビバレッジ」セグメントの外食部門では、主力業態であるKFCにおいて、大型商業施設に出店しているKFC光の森店（熊本県菊池郡菊陽町）の売場をフードコート内に移転し、6月にリニューアルオープンするとともに、全業態においてコスト管理とオペレーション力の強化に努めました。

以上の結果、売上高は28億54百万円（前年同四半期比2.3%増）、セグメント利益（営業利益）は3億1百万円（前年同四半期比20.8%増）となりました。

（上記金額には、消費税等は含まれておりません。）

(2) 財政状態に関する説明

(財政状態)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて10百万円減少し、356億63百万円となりました。これは主に、現金及び預金が増加する一方、受取手形及び売掛金が減少したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて3億50百万円減少し、186億25百万円となりました。これは主に、借入金が増加する一方、買掛金や未払法人税が減少したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて3億40百万円増加し、170億37百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金や利益剰余金が増加したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、固定資産の取得3億34百万円、法人税等の支払い2億53百万円及び仕入債務の減少2億44百万円等の資金の減少がありましたが、売上債権の減少11億88百万円、税金等調整前四半期純利益6億36百万円及び減価償却費3億49百万円等の資金の増加により、前連結会計年度末に比べ11億27百万円増加し、当第2四半期連結累計期間末は59億27百万円(前年同四半期末比32.1%増)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加額は、14億69百万円(前年同四半期比92.6%増)となりました。これは主に、法人税等の支払い2億53百万円及び仕入債務の減少2億44百万円等の資金の減少がありましたが、売上債権の減少11億88百万円、税金等調整前四半期純利益6億36百万円及び減価償却費3億49百万円等の資金の増加によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少額は、3億39百万円(前年同四半期比66.8%減)となりました。これは主に、固定資産の取得3億34百万円等の資金の減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少額は、2百万円(前年同四半期は4億86百万円の増加)となりました。これは主に、借入金の増加1億19百万円の資金の増加がありましたが、配当金の支払い1億8百万円、リース債務の返済7百万円及び非支配株主への配当金の支払い5百万円の資金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年5月13日発表から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,615,053	6,742,732
受取手形及び売掛金	4,865,534	3,703,341
商品及び製品	2,628,861	2,580,688
仕掛品	24,274	10,178
原材料及び貯蔵品	29,299	25,784
その他	570,984	545,611
貸倒引当金	△20,309	△14,975
流動資産合計	13,713,697	13,593,361
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,489,845	4,479,995
土地	11,923,043	11,914,683
その他（純額）	1,169,534	1,175,295
有形固定資産合計	17,582,423	17,569,974
無形固定資産	364,826	443,990
投資その他の資産		
その他	4,235,387	4,280,222
貸倒引当金	△222,778	△224,228
投資その他の資産合計	4,012,608	4,055,994
固定資産合計	21,959,858	22,069,959
資産合計	35,673,556	35,663,321
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,908,446	1,664,224
短期借入金	4,505,000	4,625,000
1年内返済予定の長期借入金	2,757,000	2,817,000
未払法人税等	282,521	241,069
賞与引当金	266,950	260,551
その他	1,715,454	1,470,216
流動負債合計	11,435,372	11,078,060
固定負債		
長期借入金	5,752,989	5,691,989
役員退職慰労引当金	657,600	675,600
その他	1,130,245	1,179,836
固定負債合計	7,540,834	7,547,425
負債合計	18,976,206	18,625,486

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,690,899	1,690,899
資本剰余金	1,646,600	1,646,600
利益剰余金	12,795,973	13,085,891
自己株式	△117,518	△117,518
株主資本合計	16,015,954	16,305,872
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	450,908	486,847
退職給付に係る調整累計額	△26,556	△17,740
その他の包括利益累計額合計	424,352	469,106
非支配株主持分	257,042	262,855
純資産合計	16,697,349	17,037,835
負債純資産合計	35,673,556	35,663,321

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	28,683,054	27,841,717
売上原価	23,065,258	21,993,978
売上総利益	5,617,795	5,847,738
販売費及び一般管理費	5,333,633	5,403,147
営業利益	284,162	444,591
営業外収益		
受取利息	1,422	1,452
受取配当金	39,029	41,686
受取賃貸料	64,105	66,409
その他	136,927	136,979
営業外収益合計	241,484	246,527
営業外費用		
支払利息	29,744	29,446
賃貸費用	6,358	6,380
固定資産除却損	12,523	11,864
その他	12,414	18,071
営業外費用合計	61,040	65,763
経常利益	464,606	625,355
特別利益		
固定資産売却益	184	11,419
収用補償金	482	—
特別利益合計	667	11,419
特別損失		
固定資産売却損	38	—
特別損失合計	38	—
税金等調整前四半期純利益	465,234	636,774
法人税、住民税及び事業税	164,780	213,182
法人税等調整額	8,195	13,688
法人税等合計	172,976	226,871
四半期純利益	292,258	409,903
非支配株主に帰属する四半期純利益	10,310	11,448
親会社株主に帰属する四半期純利益	281,948	398,454

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	292,258	409,903
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	232,042	35,938
退職給付に係る調整額	10,747	9,176
その他の包括利益合計	242,789	45,114
四半期包括利益	535,048	455,017
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	523,521	443,209
非支配株主に係る四半期包括利益	11,527	11,808

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	465,234	636,774
減価償却費	333,559	349,777
固定資産除却損	12,523	11,864
のれん償却額	17,026	16,989
貸倒引当金の増減額(△は減少)	35,231	△3,885
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,490	△6,399
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	17,500	18,000
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	8,486	△8,188
受取利息及び受取配当金	△40,451	△43,138
支払利息	29,744	29,446
固定資産売却損益(△は益)	△145	△11,419
受取保険金	△622	△401
売上債権の増減額(△は増加)	759,603	1,188,750
たな卸資産の増減額(△は増加)	△244,866	65,783
仕入債務の増減額(△は減少)	△217,291	△244,221
その他	△140,212	△289,737
小計	1,032,830	1,709,995
利息及び配当金の受取額	40,399	41,968
利息の支払額	△30,354	△29,547
保険金の受取額	336	401
法人税等の支払額	△280,004	△253,032
営業活動によるキャッシュ・フロー	763,208	1,469,785
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△600	—
固定資産の取得による支出	△984,597	△334,786
固定資産の売却による収入	1,337	21,920
投資有価証券の取得による支出	△14,487	△15,270
差入保証金の差入による支出	△15,798	△6,323
差入保証金の回収による収入	789	1,861
貸付けによる支出	△10,172	—
貸付金の回収による収入	2,653	1,867
その他	△2,312	△8,799
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,023,187	△339,530
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	300,000	300,000
短期借入金の返済による支出	△145,000	△180,000
長期借入れによる収入	2,000,000	1,600,000
長期借入金の返済による支出	△1,545,831	△1,601,000
リース債務の返済による支出	△7,171	△7,171
自己株式の取得による支出	△6,837	—
配当金の支払額	△102,693	△108,409
非支配株主への配当金の支払額	△5,995	△5,995
財務活動によるキャッシュ・フロー	486,471	△2,576
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	226,492	1,127,679
現金及び現金同等物の期首残高	4,259,976	4,799,351
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,486,468	5,927,031

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	エネルギー	ライフ スタイル	フード& ビバレッジ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	22,569,888	3,323,713	2,789,451	28,683,054	—	28,683,054
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12,274	43,906	13,360	69,541	△69,541	—
計	22,582,163	3,367,620	2,802,812	28,752,596	△69,541	28,683,054
セグメント利益	322,680	23,597	249,645	595,923	△311,761	284,162

(注) 1 セグメント利益の調整額△311,761千円には、セグメント間取引消去2,482千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△314,243千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	エネルギー	ライフ スタイル	フード& ビバレッジ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	21,529,147	3,457,815	2,854,754	27,841,717	—	27,841,717
セグメント間の内部 売上高又は振替高	11,332	47,511	2,369	61,213	△61,213	—
計	21,540,480	3,505,326	2,857,123	27,902,930	△61,213	27,841,717
セグメント利益	350,327	113,737	301,685	765,751	△321,159	444,591

(注) 1 セグメント利益の調整額△321,159千円には、セグメント間取引消去2,407千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△323,567千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。